



発行：豊島区都市計画課

電話03-3981-2613(直通)

まちづくりのスケジュールについて話合いました

平成25年6月21日(金)午後7時から、南池袋小学校で第4回全体まちづくり検討会を開催、27名の方々にご参加いただきました。

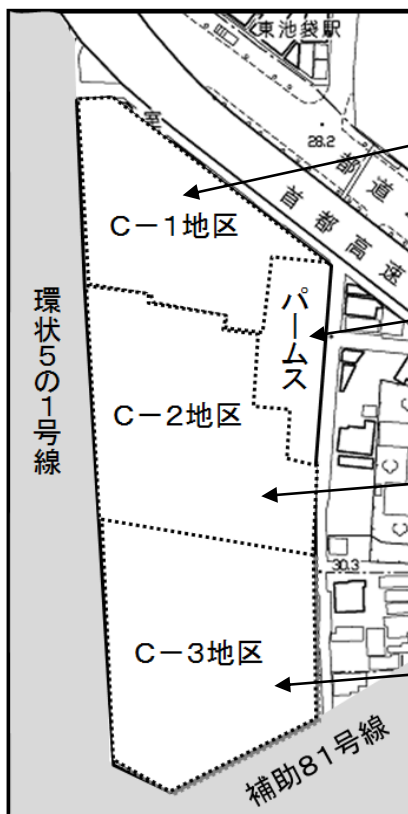
検討会では、各ゾーンで立ち上がっている地権者によるまちづくり組織から、今後のまちづくりに関するスケジュール等をご発表いただき、意見交換を行いました。

〈全体まちづくり検討会の様子〉



◆各ゾーンの地権者による任意のまちづくり組織

南池袋二丁目C地区



C1 再開発協議会

パームス東池袋まちづくり協議会

C2 市街地再開発準備組合

南ゾーンまちづくり協議会

◆参加者の主なご意見

- 豊島区の作成した構想素案は理想的なまちづくりだと思うが、時間を優先してそれぞれの協議体で検討しているまちづくりをもとに議論したい。
- 歩道状空地の連続等、協力できるところは協力しながら地域に貢献するまちづくりを考えたい。
- 個人個人、それぞれ事情があるだろうから、納得できるようじっくり議論をしながらすすめるべき。
- 現在のA地区はコンクリートの躯体しか見えないが、工事が進み外壁に色がついてくると、住民の意識も変わってくるだろう。
- まちづくりには時間が大事。
- パームスは当面、協議会への加入率をあげることを目標とするが、他のゾーンと歩みをあわせた行動をとっていきたい。
- 合意形成は非常にむずかしい。これまで時間をかけて説明を試みたが、話を聞いていただけない人もいる。

(豊島区)

- 地権者数と土地の面積の両方で一定以上の合意形成が整わないとまちづくりは進められない。
- まちづくりには時間が大事というのは豊島区も同じ考え。まちづくりを先にすすめるためにどうすればいいかを考えてはどうか。
- これまでの各ゾーンで検討されているまちづくりは、現状では都市計画協議等をはじめのための合意率は整っていない状況。
- 合意形成を進めるために、既存の区域に拘らず、柔軟に区域設定を考えるのも一つの方法ではないか。
- 次回は、「合意形成を進めるには」という切り口で、各ゾーンで具体的にどのような合意形成を進めるかについて考えを聞かせてほしい。

次回

- ・ 次回のC地区全体まちづくり検討会では、今後の合意形成に向けた進め方について、各まちづくり組織からご発表いただき、意見交換を行います。
- ・ 開催日が決まりましたら、別途ご案内いたします。

全体検討会は、C地区の全地権者を対象とした自由な意見交換の場ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】

豊島区都市整備部都市計画課拠点まちづくりグループ 小黒・木戸

TEL: 03-3981-2613 FAX: 03-5950-0803

E-mail: A0022603@city.toshima.lg.jp



豊島区制80周年記念シンボルマークです